

令和5年度 真柄福祉セミナー

～誰もが人々の多様な生き方を認め合う「共生社会の実現」に向けて～

日時 令和5年9月30日(土) 第一部 10:00～、第二部 14:00～

第一部 親亡きあとへの支援について考える

～安心して親役割を引き継ぐために～

講師：西村 愛 (にしむら あい)

新潟県立大学人間生活学部こども学科准教授

第二部 地域の中で自分らしく豊かに生きることの再考

～「環境」と「かかわり」がもたらすもの～

講師：渡辺恵司 (わたなべ けいじ)

新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科講師



講師：西村 愛



講師：渡辺恵司

会場 新潟日報メディアシップ2階 日報ホール

新潟市中央区万代 3-1-1

参加費 無料

定員 第一部、第二部・・・先着 各100名

- 入場は無料となりますが、セミナーに参加するためには事前のお申し込みが必要となります。お申し込み、お問い合わせは下記の通りです。
- 申込締切：9月20日(水) 必着 (但し、定員に達した時点で締め切ります。)

【プログラム】

9:30 第一部講演受付
10:00 開演・主催者挨拶
10:10 第一部講演
11:10 休憩
11:20 質疑応答
11:50 第一部閉会
13:30 第二部講演受付
14:00 開演・主催者挨拶
14:10 第二部講演
15:10 休憩
15:20 質疑応答
15:50 第二部閉会

講師：西村 愛 プロフィール

大阪市出身。大阪府立大学大学院を修了し、東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科及び青森県立保健大学保健科学部社会福祉学科で講師を務めた後、平成31年4月から現職。

新潟県福祉のまちづくり施策推進会議委員、新潟市社会福祉審議会障害者福祉部門学科会委員 等

講師：渡辺恵司 プロフィール

村上市出身。花園大学社会福祉学部で社会福祉学を学ぶ。大学卒業後、医療法人常心会川室記念病院にて精神科ソーシャルワーカー、京都光彩の会地域生活支援センターなごやかにて地域移行推進員、花園大学社会福祉学部にて講師を務めた後、2016(平成28)年4月から現職。新潟県精神保健福祉士協会代議員 等

お申し込み・お問い合わせ：公益財団法人真柄福祉財団

〒950-0088 新潟市中央区万代 3-1-1 新潟日報メディアシップ 8階

TEL：025-378-8460 FAX：025-378-8463

E-mail：info@magarafukushizaidan.jp

URL：https://www.magarafukushizaidan.jp/



講師：西村 愛 新潟県立大学人間生活学部こども学科准教授



親亡きあとへの支援について考える

～ 安心して親役割を引き継ぐために ～

知的障がいや重い障がいのある子どもと暮らす保護者にとって、親亡きあと問題は未だに深刻な問題とされています。親亡きあと問題とは、親である自分が亡くなったあと、障害のある我が子が、どこで、誰の支援を受けて、どのように暮らすのか分からないことから起きる不安です。

本セミナーでは、この親亡きあとの不安を減らしていくために必要なことを、親役割を引き継ぐという観点から話をします。

講師：渡辺恵司 新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科講師



地域の中で自分らしく豊かに生きることの再考

～ 「環境」と「かかわり」がもたらすもの ～

精神保健福祉の分野では、精神障害の有無や障害の程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるために、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる包摂的な社会を構築していくことが重要となっています。

本セミナーでは、精神科病院にて長期入院という「環境」から退院をした方とのエピソードや、不安を抱えながら暮らしを継続していた方への「かかわり」のエピソードなど、具体的なお話しをもとに、地域の中で自分らしく豊かに生きることについて共に考える機会にします。

交通アクセス

新潟駅からタクシー約5分、徒歩約10分

